

# 平成 28 年度事務事業評価表 (一般用)

事務事業名		090207	地下水の水質汚濁状況の常時監視事業	担当部課	部課コード	090200	2998-9230
事業コード		090207		環境対策課			
開始年度		平成	元	年度	終了年度	年度	
		グループ		水・騒音			

事業の概要	事業の種類別	自治事務	法定受託事務	法定受託 + 附加	根拠法令
	分野別計画・指針	所沢市環境基本計画、埼玉県地下水質測定計画			水質汚濁防止法
	関連・類似事業	公共用水域の水質汚濁状況の常時監視事業 (環境対策課)			
	総合計画の体系	章 環境・自然	節 環境保全	基本方針	水・土壌環境の保全・改善
事業開始の背景	水質汚濁防止法が改正 (平成元年改正) され、地下水の水質汚濁状況の監視が義務付けられたことに伴い、平成元年より同法第15条に基づき本事業を開始した。平成9年度には、地下水の水質汚濁に関する環境基準が定められ、現在28項目が定められている。				

事業の内容	目的 (どのような効果を目指して実施しているのか、具体的に)	地下水の有害物質等の環境基準項目等を中心として汚染状況を把握し、地下水汚染の早期発見と継続的な監視を行い、地下水汚染対策に係る施策の基礎資料とする。				
	対象 (誰を、何を対象としているのか)	対象数	単位	平成 26 年度	21	箇所
	調査井戸数 (概況調査・継続監視調査)			平成 27 年度	23	箇所
	事業の具体的な内容及び実施方法	埼玉県が定めた地下水質測定計画に基づき、市内を区分したうちの3~4区画から1本毎の井戸を選定し、カドミウムなどの地下水の水質汚濁に係る環境基準項目について、水質調査を行う。また、過去の調査で環境基準を超過した井戸について、その項目にかかる水質調査を行う。 前年度に、埼玉県が所沢市等の測定担当機関と協議の上、「埼玉県地下水質測定計画」を策定 県の測定計画に基づく調査対象地区内で、調査協力が得られた井戸について、環境基準項目の水質調査 (概況調査) を行う。 過去に基準超過した井戸については、現状を把握するため、年に1度継続監視調査を実施する。 結果を取りまとめて、環境基準や過去の測定結果との比較、評価を行い、基準超過がある場合には汚染井戸周辺地区調査を実施する。 調査結果の国への情報提供、公表				

会計種別	一般会計	平成 26 年度 (千円)	平成 27 年度 (千円)	平成 28 年度 (千円)
予算現額		621	385	457
決算 (見込み含む)		421	566	
(非常勤特別職員) (臨時的任用職員)	(人) (人) (人) (人)			
正規職員人件費		0.81 人 7,064	0.55 人 4,763	
事業費合計		7,485	5,329	
財源内訳	一般財源	7,485	5,329	457
	国・県支出金	0	0	
	その他 ( )	0	0	

「財源内訳」について  
平成28年度のみ、当初予算の内訳となっています。

実績	項目名	項目説明	単位	H 26				H 27		H28見込み		将来目標	
				2	2	2	2	19	21	21	21		
活動実績	概況調査	調査井戸数	箇所	2	2	2	2	2	2	2	2		
	継続監視調査	調査井戸数	箇所	19	21	21	21	21	21	21	21		
	汚染井戸周辺地区調査 (土壌汚染や概況調査での環境)	調査井戸数	箇所	2	0	0	0	0	0	0	0		

成果	項目名	項目説明	単位	H 26		H 27		H28目標値		将来目標	
				100	100	100	100	100	100		
成果指標	調査実施率	調査実施数 / 計画数 × 100	%	目標値	100	100	100	100	100	100	
				実績	96	100	<input checked="" type="checkbox"/> 実績 拡大図る <input type="checkbox"/> 実績 縮小図る				
目標達成状況	どれだけ目標に近づいているかを達成率として示しています		%	達成率	96	100	どちらかをチェックしてください				

改善点	(1) 平成27年度中に改善した点 (改善内容・その結果について記載してください)	(2) 平成27年度成果指標の目標値が未達成の理由・分析
	硝酸性窒素及び亜硝酸性窒素の環境基準超過の原因は、畑への施肥等が推定されることから、適正な施肥について、市のホームページに掲載し周知・啓発を図った。	

評価	<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 終了 方向性の 方 今 向 後 性 の	事業実施方法 (複数選択可) <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input checked="" type="checkbox"/> 改善・効率化 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> その他	理由	調査頻度の効率化を図っていくため。
		次年度予算 <input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 現状維持	理由	調査頻度の効率化を図っていくため。
評価	(1) 平成28年度に取り組んでいる状況		(2) 今後の方向性	
	調査予定は10月以降であり、適宜準備を進めている。		引き続き地下水の常時監視を実施していく。	
評価日	H28.8.19	評価者職氏名	環境対策課長 矢野 正和	

環境影響	有益な環境影響	4-2水質汚濁の防止	有害な環境影響を及ぼす原因活動	自動車の使用、紙の使用	規制を受ける環境法令等	無
					緊急事態	無